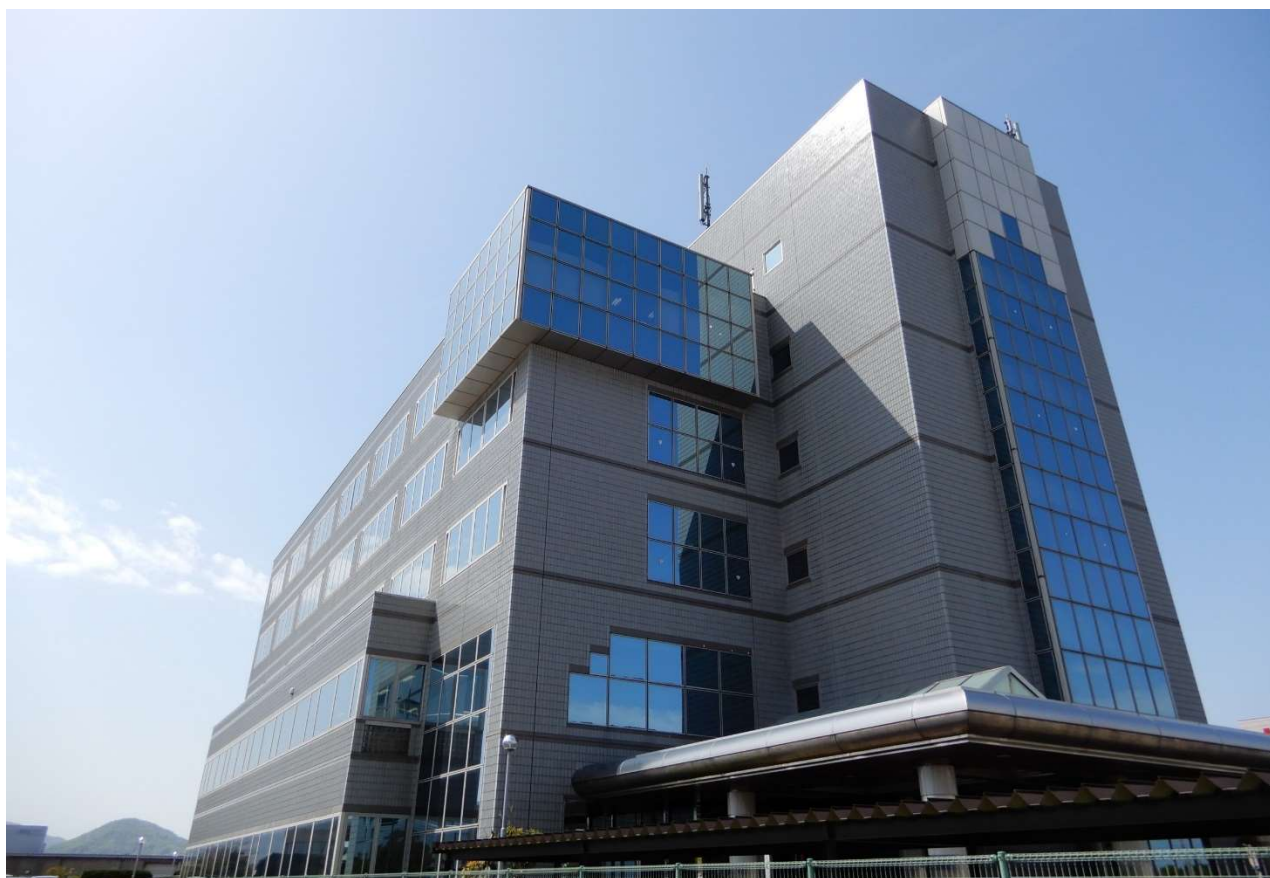


教育センターだより

本年度の教育センタースローガン

教師の主体的・意欲的な学びをサポートし、
頼りにされる教育センター



香川県教育基本計画（令和3年～7年）における基本理念は「郷土を愛し、夢と志を持って自ら学び歩み続ける人づくり～自立・協働・創造を支える香川の教育～」です。この基本理念を共有し、その実現を目指して様々な教育現場、教育機関が教育活動に取り組んでいます。

また、国においては『「令和の日本型学校教育」を担う新たな教師の学びの姿の実現に向けて（審議まとめ）』において、教師の資質・能力の向上に向けた新たな方向性が示され、その実現に向けて、令和5年度からは研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励などの新たな取組が始まっています。

このような現状において、直接的に学校・教職員を支援する教育センターの使命を今一度見直し、教師の主体的・意欲的な学びをサポートし、学校現場の役に立ち、頼りにされる行政機関であることを目指したいと考えています。

令和5年4月 香川県教育センター 所長 藪内康則

1 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた調査研究

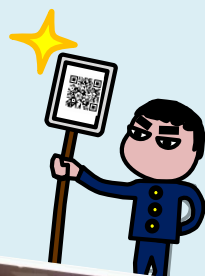
全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を推進し、県教育センター協力学校等の先進的な実践事例をもとに、効果的な指導の在り方等について提案します。

2 児童生徒が主体的にICTを活用して取り組む学習の充実に向けた調査研究

児童生徒が主体的にICTを活用して取り組む学習の充実を推進し、県教育センター協力学校等の先進的な取組をもとに、児童生徒が自らICTを選択し、活用できるよう、デジタル・シティズンシップ教育に関する指導や情報活用能力の育成に関する指導の在り方、各学校の環境に応じた1人1台端末等の管理・運用について提案します。

3 全国及び香川県の学習状況調査の結果分析

学校現場の授業改善や教育課程の見直しなどの取組を研修サポートや研究相談を通じて支援できるよう、全国学力・学習状況調査及び香川県学習状況調査の結果を分析し、本県の課題を明らかにするとともに、学力向上に向けた提案をします。



3年ぶりに香川県教育センターでの集合型発表会として実施しました。県外からもご参加いただき、盛会のうちに終えることができました。



発表Ⅰ

全国学力・学習状況調査及び香川県学習状況調査結果分析

調査結果の分析をもとに、改善の視点を2つ示しました。改善の視点①「話合いの質の向上」のために、児童生徒の考えを発表する機会を増やすとともに、自分の考えがうまく伝わるよう工夫して発表する場を設けることを提案しました。また、改善の視点②「自己有用感を高める主体的な取組」の実現のために、地域や社会で起こっている問題を自分事として捉えるとともに、身近なことからチャレンジして行く過程を通して、自己の生き方について前向きな夢や目標をもてるように支援することを提案しました。

参加者感想

- ▶ 研究主任をしていた時、先生方に分担依頼して分析した県や全国のテスト結果から自校の課題をまとめたことがあります。本当に現場の研修ですべきだったことは教育センターの報告や問題傾向から、「どんな授業を目指すか」を協議することだったのだと感じています。この分析を効果的に生かせる校内体制をつくっていききたいと思います。
- ▶ 各教科の分析結果や質問紙の回答傾向などから、授業改善に向けてのポイントが分かりました。具体策も示されていたので、児童の実態に合わせて取り入れていきたいと思っています。

「R4香川県学習状況調査報告書」はWebよりダウンロードできます。



発表Ⅱ

ICTの効果的な活用による「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた調査研究

協力学校等の先進的な実践事例をもとに、ICTをどのように活用すれば効果的なのか、学習者主体の授業づくりと併せて、小学校、中学校、高等学校の3つの分科会で提案を行いました。

参加者感想

- ▶ 各校の実践が具体的に示されていたので、大変分かりやすかったです。各教科や日常活動の中で効果的な活用の仕方を見童が実感でき、自ら選択して活用できるように取り入れていきたいと思っています。（小学校）
- ▶ 本校では来年度から1人1台端末となりますが、どう活用すれば効果的なものになるのか悩んでいました。先進的に取り組まれている小中学校の具体例が知れイメージができました。（高等学校）



「研究成果報告書」はWebよりダウンロードできます。

▶ 認証領域ログイン必要



1人1台端末環境での授業づくり

講演

講師 中川 一史 先生
放送大学・教授、博士(情報学)

演題 「子ども主体の学びとICT」

日本の教育は、これまでの教え込む教育から、子どもが学びとる教育への転換の時期であり、教科書の在り方も大きく変化しています。特に、2019年に制度化されたデジタル教科書について、実践事例を基に分かりやすく説明していただきました。今後、超えるべき壁として挙げられた「時間の壁」、「空間の壁」、「主体の壁」、「教科の壁」の中でも、「主体の壁」を超えるためには、「教師がある意味『不親切』であること」という言葉には驚くと同時に納得させられました。教育に携わる者として、多くを学び、今後について考える機会をいただけたご講演でした。



参加者感想

- ▶ 発表Ⅱの内容も含めて、ICTの活用法について、具体的に考えさせられる講演でした。個別指導、主体的な学びの可能性が広がる文具としての活用法を模索し、端末が常にある授業に繋げていきたいと思いました。



今年度の教育センターの事業をご紹介します。

令和5年度 公開講演

関係研修の受講の有無にかかわらず聴講できます。
詳しくは『研修講座案内』又は Web サイトをご覧ください。



期 日	演 題	講 師（敬称略）
5/ 9(火)	災 害 共 済 給 付 事 務	日 本 ス ポ ー ツ 振 興 セ ン タ ー
6/ 9(金)	子 供 た ち の ネ ッ ト 利 用	三 光 病 院 院 長 海 野 順
6/13(火)	「主体的・対話的で深い学び」のためにー自己調整学習の視点からー	香川大学教育学部 准 教 授 岡 田 涼
7/31(月)	学 校 組 織 マ ネ ジ メ ン ト	滋賀大学教職大学院 教 授 大 野 裕 己
8/17(木)	働き方改革と学校管理職のリーダーシップ	愛媛大学大学院教育学研究科 教 授 露 口 健 司
8/18(金)	キ ャ リ ア 教 育 の 在 り 方	国立教育政策研究所 総括研究官 長 田 徹
8/23(水)	ICTを効果的に活用した小学校国語の授業づくりー個別化と最適化を考慮した学力の向上ー	元 文 部 科 学 省 教 科 調 査 官 井 上 一 郎
8/24(木)	就学前における特別支援教育コーディネーター	香川大学教育学部 教 授 小 方 朋 子
11/ 9(木)	特 別 支 援 教 育 （ 発 達 障 害 ）	香川大学教育学部 教 授 坂 井 聡
12/27(水)	社会に開かれた教育課程とカリキュラム・マネジメント	甲南女子大学人間科学部 教 授 村 川 雅 弘
8月～1月※	これからの時代に求められる教師の役割	文教大学教育学部 教 授 会 沢 信 彦

※オンライン研修（オンデマンド型）による講演となります。

カリキュラムセンター事業

◆ 研修サポート

指導主事を派遣し、各学校の研究テーマや課題に沿った指導や助言、研修支援を行います。
（令和4年度実績：417件）

◆ 研究相談

教育実践上の諸問題等について、来所や電話、メール等により教職員からの相談に応じます。
（令和4年度実績：326件）

◆ 教育ライブラリー

[所蔵資料]（令和4年度末現在）

- ・教育図書 12,455冊
- ・研究紀要・論文等 16,950点
- ・教育雑誌 27種類
- ・視聴覚資料、各社の教科書 他

[閲覧・貸出等]

- ・開室時間 9:00～17:00（月～金）
9:00～16:00（土）
（ただし、土曜日は原則として13:00～14:00 開室）
- ・貸出冊数 1回につき5冊まで
- ・貸出期間 15日間

◆ Webサイト

学習指導案や調査研究報告書など、教育活動に役立つ資料を収集・作成し、情報提供します。
また、教職員研修を効率的・効果的なものにするため、オンライン研修事業を推進します。

◆ インターネットによる学校支援

インターネットで各学校と教育センターとを結ぶ香川県情報教育支援サービスを通じ、様々な教育情報や各種サービスを提供します。

◆ 学校教育力向上支援事業（さぬき学びの支援隊）

退職教職員を小・中学校に派遣し、教職員の資質・能力の向上に向けた支援を行います。

令和4年度実績：

支援隊登録者数 367人
派遣校数 118校
派遣時間総数 6,849時間

◆ 施設開放

県内の教職員団体やグループに対して、その自主的研修や調査研究の場として、研修室を無料で貸し出します。

・貸出時間 9:00～16:30（月～土）
（令和4年度実績：139団体 4,320人）

子どもたちのこと、保護者への対応で悩んでいませんか？

教育相談課では、学校における教育相談活動を支援するために、次のような活動を行っていますのでご活用ください。

問い合わせ先 教育センター教育相談課 ☎ 087-813-0945



コンサルテーション

子どもや保護者とのかかわり方や学校で行う指導、支援の在り方について、電話や来所での相談を受け付けています。



研修サポート

学校等が主催する、教育相談や特別支援教育、生徒指導に関する研修の講師を務めたり、ケース会議に参加したりしています。関係する資料の提供も行っています。



学校支援アドバイザーの派遣

かわた ゆきお
川田 行雄 アドバイザー
臨床心理士

ふじさわ あかね
藤澤 茜 アドバイザー
社会福祉士・精神保健福祉士
香川SSW協会副会長



学校支援アドバイザーが学校を訪問し、対応の難しい問題について解決の道筋を一緒に考えます。

※対象は公立小中学校です。

Web サイト

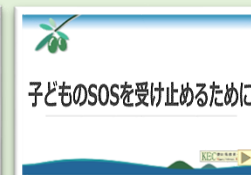
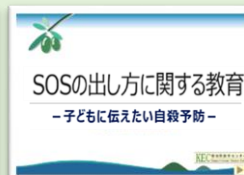
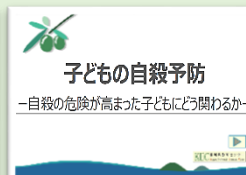
香川県教育センターの Web サイトに掲載しています。

心と身体のチェックリスト



突然の災害や事故、事件に遭遇したり、何らかの強いストレスを受けたりした子どもたちのサポートのため、学校で活用していただくことを目的に作成したチェックリストです。

オンライン研修資料は、校内研修や若年教員への指導資料としてお使いいただけます。



教育相談窓口のご案内

電話相談

子ども電話相談 (毎日 9:00~21:00)
087-813-3119

子育て電話相談 (毎日 9:00~21:00)
087-813-2040

24時間いじめ電話相談 (毎日 24時間)
087-813-1620

24時間子供SOSダイヤル (毎日 24時間)
0120-0-78310

子どものネットトラブル相談
(月~金曜日 9:00~21:00 祝日・年末年始を除く)
087-813-3850

香川県教育センター 相談窓口

香川 教育相談窓口

検索

来所相談



087-813-0945
予約受付

月~金曜日 9:00~17:00
第2・4土曜日 13:00~17:00
(祝日・年末年始を除く)

メール相談

kesoudan@kagawa-edu.jp
(毎日 24時間)

FAX相談

087-881-3272
(毎日 24時間)

※返信には時間がかかることがあります

先生方一人ひとりからの相談も受けています！

教育相談課 TEL: 087-813-0945
月~金曜日 9:00~17:00
(祝日・年末年始を除く)

